

# 寒河江市公共事業整備優先順位基準

令和3年10月改定

寒河江市建設管理課

## はじめに

社会資本の整備は、安全で豊かな市民生活を確保するとともに、良好な社会環境を創出し、経済活動の向上を図るなど市民生活の基盤を形成するものであります。

少子高齢化社会の到来そして人口減少の時代を迎える中、社会基盤としての公共土木施設などの重要性は、多くの市民に認識されるとともに市民ニーズが多様化し、きめ細かな土木行政が求められています。一方で、厳しい財政状況を背景としてこれらの要望に十分な対応が難しくなっており、真に必要な社会資本への重点的な投資を求める声が高くなっています。限られた財源で質の高い行政を実現させるためには、必要性やその効果などを評価し、投資の重点化や建設コストの縮減など効果的な事業の執行に努め、市民への説明責任を果たすことが大切であります。

市民より多く寄せられる要望の中で暮らしに密接にかかわる生活道路の改良や側溝・舗装・交通安全施設等の整備について、その整備判断の目安として「寒河江市公共事業整備優先順位基準」を策定し、示すものであります。

この基準で対象となる公共工事は、市民生活に密着した道路・河川・用悪水路・側溝の整備や維持管理で、新たに工事着手を検討している事業とし、この基準に基づく評価により、整備優先順位を判定し、整備時期の明確化を図り、市民に分かりやすい事業の執行を行うものです。

また、集落と集落等を結ぶ幹線道路の整備については、市民の皆様よりご意見をいただきながら別途計画してまいります。

今後は、地域におけるまちづくりの方針や社会情勢の変化に合わせ、必要に応じ基準の見直しを図り、市民ニーズに即した基準としてまいります。

# 目次

## 概要

1. 目的	1
2. 事業の分類	1
3. 優先順位の評価	1
4. 評価の判定	1

## 1章 生活道路整備事業

1. 整備の方針	3
2. 優先順位・評価の基本的な考え方	3
2-1 優先順・評価について	3
2-2 整備時期について	3
3. 整備優先順位の判定フロー	4
4. 生活道路整備要望チェックリストの作成	5
5. 生活道路整備評価表	6
5-1 基本的事項	6
5-2 評価事項	6
5-2-1 他計画との整合性	6
5-2-2 緊急性	7
5-2-3 必要性	8
5-2-4 整備の熟度	8・9
5-2-5 整備の効果	9
5-2-6 経年加点	10
6. 評価の判定	10
生活道路整備要望チェックリスト	11
生活道路整備評価表	12

## 2章 生活道路維持事業

1. 整備の方針	14
2. 優先順位・評価の基本的な考え方	14
2-1 優先順・評価について	14
2-2 整備時期について	14
3. 整備優先順位の判定フロー	15
4. 生活道路維持要望チェックリストの作成	16
5. 生活道路維持評価表	17
5-1 基本的事項	17
5-2 評価事項	17
5-2-1 緊急性	18
5-2-2 必要性	19
5-2-3 整備の熟度	19
5-2-4 整備の効果	20
5-2-5 経年加点	20
6. 評価の判定	21
生活道路維持要望チェックリスト	22
生活道路維持評価表	23

3章 側溝整備事業	
1. 整備の方針	25
2. 優先順位・評価の基本的な考え方	25
2-1 優先順・評価について	25
2-2 整備時期について	25
3. 整備優先順位の判定フロー	26
4. 側溝整備要望チェックリストの作成	27
5. 側溝整備評価表	28
5-1 基本的事項	28
5-2 評価事項	28
5-2-1 他計画との整合性	28
5-2-2 緊急性	29
5-2-3 必要性	30
5-2-4 整備の熟度	30・31
5-2-5 整備の効果	31
5-2-6 経年加点	32
6. 評価の判定	32
側溝整備要望チェックリスト	33
側溝整備評価表	34
4章 河川・用悪水路整備事業	
1. 整備の方針	36
2. 優先順位・評価の基本的な考え方	36
2-1 優先順・評価について	36
2-2 整備時期について	36
3. 整備優先順位の判定フロー	37
4. 河川・用悪水路整備要望チェックリストの作成	38
5. 河川・用悪水路整備評価表	39
5-1 基本的事項	39
5-2 評価事項	39
5-2-1 他計画との整合性	39
5-2-2 緊急性	40
5-2-3 必要性	40
5-2-4 整備の熟度	41
5-2-5 整備の効果	42
5-2-6 経年加点	42
6. 評価の判定	43
河川・用悪水路整備要望チェックリスト	44
河川・用悪水路整備評価表	45

5章	安全施設整備事業	
1.	整備の方針	47
2.	優先順位・評価の基本的な考え方	47
2-1	優先順・評価について	47
2-2	整備時期について	47
3.	整備優先順位の判定フロー	48
4.	安全施設整備要望チェックリストの作成	49
5.	安全施設整備評価表	50
5-1	基本的事項	50
5-2	評価事項	50
5-2-1	緊急性	51
5-2-2	必要性	52
5-2-3	整備の熟度	52・53
5-2-4	整備の効果	53
5-2-5	経年加点	53
6.	評価の判定	54
	安全施設整備要望チェックリスト	55
	安全施設整備評価表	56

# 概要

## 1. 目的

近年の厳しい財政状況や市民ニーズの多様化など公共工事を取り巻く環境が大きく変化するなか、事業の必要性とその効果について、事業実施前<sup>※1</sup>に客観的な評価を行い、優先順位と整備時期を明確にし、より効率的・効果的な社会資本整備の実現を図るとともに、公共事業実施の決定プロセスの透明化を図ることを目的とするものである。

※1 事業実施前：事業化を決定する前の段階

## 2. 事業の分類

建設管理課において実施する公共事業を対象に、下記の5種類に分類する。

- ① 生活道路整備事業（新設・改良）
- ② 生活道路維持事業（舗装・修繕）
- ③ 側溝整備事業
- ④ 河川・用悪水路整備事業
- ⑤ 安全施設整備事業

## 3. 優先順位の評価方法

それぞれの事業に応じて、事業の緊急性・必要性、整備の熟度・効果等を評価し優先度の判定を行う。

ただし、緊急対応が必要な箇所については、評価の対象としない。

### (1) 他計画との整合性

地域の要望に加え、市の他計画等との整合性を図り、市民全体の要望等との整合性を図っていく。

### (2) 緊急性

歩行者や交通状況等を勘察し、整備の緊急性を評価する。

### (3) 必要性

土木施設等の劣化状況を評価する。

### (4) 整備の熟度

事業実施に向けた環境の熟成度合いを評価する。

### (5) 整備の効果

整備に想定される効果を評価する。

### (6) 経年加点

要望からの経過年数を加点する。

## 4. 評価の判定

高+・高・中+・中・低の区分について設定するものとする。

1. 整備の方針
2. 優先順位・評価の基本的な考え方
3. 整備優先順位の判定フロー
4. 生活道路整備要望チェックリストの作成
5. 生活道路整備評価表
6. 評価の判定

## 1章 生活道路整備事業

### 1. 整備の方針

市民生活に直結した道路の整備は、利便性に配慮した、人にやさしい居住環境の確保を推進するため、円滑な交通の処理と交通事故のない安全で安心な道づくりを行う。

### 2. 優先順位・評価の基本的な考え方

#### 2-1 優先順位・評価について

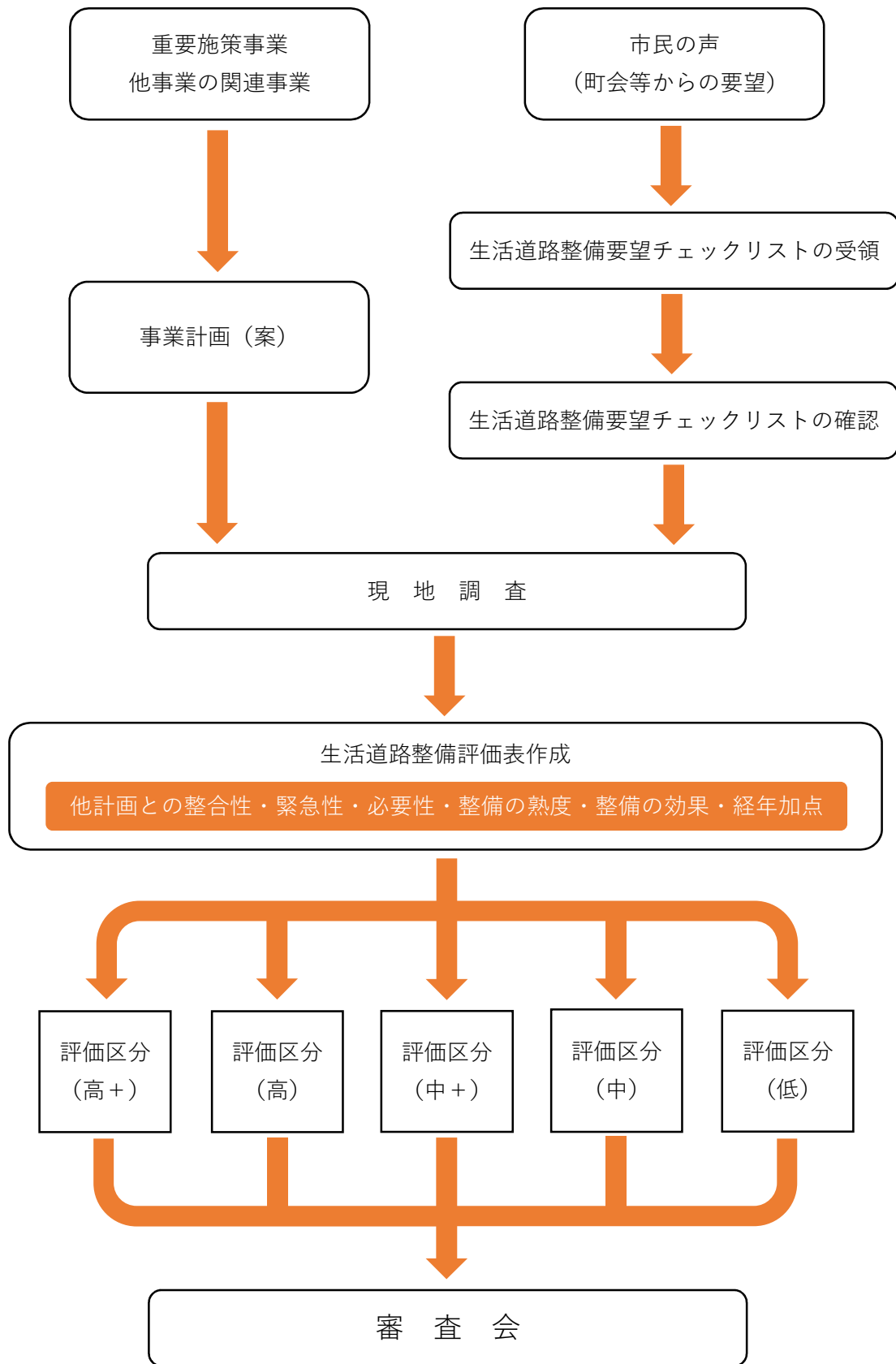
「他計画との整合性」の評価や、通学路使用状況、交通量（車両・歩行者・自転車）、緊急車両の通行障害、歩道の有無など「緊急性」の評価と、路面の劣化等に起因する歩行障害・車両の通行障害の「必要性」、住宅地等の割合や地権者の同意状況、電柱移設の同意状況などの「熟度」、安全性の向上や環境の向上の「整備の効果」、要望からの経過年数を加算する「経年加点」を加えた6項目で評価する。

#### 2-2 整備時期について

評価表の優先順位を基本として、上位計画事業・他事業などとの整合を図り、整備時期を決定する。



3. 整備優先順位の判定フロー



## 4. 生活道路整備要望チェックリストの作成

整備要望におけるチェックリスト内容を整理し、とりまとめる。

チェックリストの項目・内容

整理番号	項目	内容
①	要望路線名	路線名称
②	要望の種類	道路改良、舗装新設、橋梁整備、その他
③	道路延長	整備要望延長
④	道路幅員	現況及び要望幅
⑤	道路の状況	舗装状況及び側溝の状況
⑥	側溝の流末	流末の有無、改良の必要性
⑦	道路勾配	道路勾配の度合い
⑧	現状道路の見通し	道路の視距性
⑨	電柱の有無	道路内の状況、移動の可能性
⑩	道路使用状況	交通量
⑪	道路拡幅の可能性	拡幅の同意の有無
⑫	隣接地権者の同意	権利者全員の同意の有無
⑬	境界の確定	境界杭の確認
⑭	「狭い道路の拡幅整備事業」制度の選択	建築基準法第42条第2項道路の指定
⑮	優先順位	過去と現在の優先順位の確認

## 5. 生活道路整備評価表

## 5-1 基本事項

要望における基本事項を整理し、建設管理課においてとりまとめる。

整理番号	項目	内容
①	路線名称	路線名称
②	種別	路線種別（市道1・2級、その他）
③	地区名	整備箇所の町名
④	地域の状況	整備箇所の用途区分または地域状況
⑤	要望の種類	道路新設、道路改良、その他
⑥	道路延長	整備予定延長
⑦	道路幅員	道路現況幅員
⑧	概算金額	整備にかかる費用

## 5-2 評価事項

整備要望チェックリスト及び調査表を基に整備優先順位評価表の作成を行う。

ここでは、他計画との整合性、緊急性・必要性・整備の熟度・整備の効果・経年加点の6項目を基本に評価し、各項目を高+・高・中+・中・低の5段階に評価する。

## 5-2-1 他計画との整合性

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
a	他計画との整合性	10	市振興計画で計画されている
		7	他計画で計画されている
		5	他事業との協力が求められる事業
		0	単独の事業である

## 5-2-2 緊急性

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
b	通学路使用の状況	8	要望全体が通学路となっている
		6	概ね半分以上が通学路となっている
		4	通学路としての利用は半分以下となっている
		0	通学路としての利用はない
c	交通量（車両）	5	一日中不特定の通行がある
		4	朝晩以外は地域住民のみ利用
		2	終日地域住民のみの利用
		0	あまり利用が無いが農耕車両の利用が大半
d	交通量 (歩行者・自転車)	7	朝夕の通勤・通学の利用がある
		5	日中、地域住民の利用があり、交通量100人程度
		3	日中、地域住民の利用があり、交通量50人程度
		0	歩行者・自転車の通行はほとんど見られない
e	緊急車両の通行障害	8	幅員狭隘のため緊急車両の進入が困難
		6	幅員狭隘のため緊急車両のすれ違いが困難
		0	非住宅街のため想定範囲外
f	歩道の有無	7	歩道がない
		5	2.5m未満の歩道がある
		0	2.5mを超えるほどがある

## 5-2-3 必要性

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
g	通行障害 (路面劣化による 歩行への支障)	5	5割以上が劣化し歩行に支障がある
		4	概ね3割以上が劣化し歩行に支障がある
		3	舗装の劣化が見られ高齢者の歩行に支障を来たす
		0	大きな支障はない
h	通行障害 (路面劣化による 車両通行障害)	5	5割以上が劣化し車両通行障害がある
		4	概ね3割以上が劣化し車両通行障害がある
		3	舗装の劣化が見られ車体への損傷が危惧される
		0	大きな支障はない

## 5-2-4 整備の熟度

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
i	住宅地等の割合	5	住宅地等の接地割合が50%以上
		3	接地割合が20%～50%
		1	接地割合が20%未満
		0	住宅がない
j	連携工事の要否	5	単独施工が可能
		3	他事業との連携が必要
		0	他事業の完了が必要
k	整備の実効性	5	単独施工が可能
		3	他事業の許認可、権利の調整が必要
		0	許認可や権利の分譲、取得が困難

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
l	計画地権者の同意状況	5	全員の同意がある又は不要
		0	反対者あり
m	電柱の民地移転同意書状況	5	全員の同意がある又は不要
		0	反対者あり

## 5-2-5 整備の効果

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
n	歩行者通行の安全性の向上	5	歩行者の安全が確保される
		3	歩行者のすれ違いが容易になる
		0	特に変化なし
o	車両通行の安全性の向上	5	幅員が6mを超えて確保できる
		4	幅員が5m～6m確保できる
		3	幅員が4m～5m確保できる
		0	幅員が4m未満で特に変化なし
p	路面排水等環境の向上	5	路面排水を確保できる
		4	道路測地への路面排水流入が減少する
		0	特に変化なし

## 5-2-6 経年加点

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
q	要望からの 経過年数	5	要望から5年以上経過したもの
		4	要望から4年以上経過したもの
		3	要望から3年以上経過したもの
		2	要望から2年以上経過したもの
		1	要望から1年以上経過したもの
		0	要望が当該年度に提出されたもの

## 6. 評価の判定

5項目の評価に基づき、優先度の判定を行う。

評価区分	評価内容
高+	優先順位が特に高い（70P以上）
高	優先順位が高い（60P以上）
中+	優先順位が中程度でやや高い（50P以上）
中	優先順位が中程度（40P以上）
低	優先順位が低い（40P未満）

生活道路整備要望チェックリスト

令和 年 月 日

地区名 ( ) 町会名 ( )

整理 番号	項 目	内 容	担当者 確 認
①	要望路線名		<input type="checkbox"/>
②	要望の種類	<input type="checkbox"/> 道路改良 <input type="checkbox"/> 舗装新設 <input type="checkbox"/> 橋梁整備 <input type="checkbox"/> その他(歩道)	<input type="checkbox"/>
③	道路延長	要望延長 L= m	<input type="checkbox"/>
④	道路幅員	現況幅員 m : 要望幅員 m	<input type="checkbox"/>
⑤	道路の状況	<input type="checkbox"/> 砂利道 <input type="checkbox"/> 舗装の痛んでいる道路 <input type="checkbox"/> 舗装道 <input type="checkbox"/> 側溝なし <input type="checkbox"/> 片側側溝 <input type="checkbox"/> 両側側溝	<input type="checkbox"/>
⑥	側溝の流末	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あるが改良の必要あり	<input type="checkbox"/>
⑦	道路勾配(縦断勾配)	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 適当な勾配あり <input type="checkbox"/> 急勾配あり (12%未満) (12%以上)	<input type="checkbox"/>
⑧	現状道路の見通し	<input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/>
⑨	電柱の有無	<input type="checkbox"/> 道路内に電柱あり <input type="checkbox"/> 道路内に電柱なし 電柱がある場合 <input type="checkbox"/> 民地への移動可能 <input type="checkbox"/> 民地への移動は不可能 理由:	<input type="checkbox"/>
⑩	道路使用状況	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C A: 朝昼ター一致の交通量がある B: 朝夕には交通量があるが昼ほとんど無 C: 一日中関係者しか通らない	<input type="checkbox"/>
⑪	道路拡幅の必要性	<input type="checkbox"/> 道路拡幅の必要性がある <input type="checkbox"/> 道路拡幅の必要性がない 道路拡幅がある場合 <input type="checkbox"/> 拡幅の同意が可能 <input type="checkbox"/> 拡幅の同意が困難	<input type="checkbox"/>
⑫	隣接権利者の同意	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/>
⑬	境界の確定	<input type="checkbox"/> はっきりしている <input type="checkbox"/> はっきりしていない <input type="checkbox"/> もめている	<input type="checkbox"/>
⑭	「狭い道路の拡幅整備事業」制度の選択	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない	<input type="checkbox"/>
⑮	優先順位	現在までの要望と今回の要望ではどちらを優先するか? 優先順位 ( / )	<input type="checkbox"/>



生活道路整備評価表  
(新設・改良)

課長	補佐	主査・係長	主任	担当	入力チェック
					台帳 <input type="checkbox"/>
					広報 <input type="checkbox"/>

基本事項	受付番号	受付年月日	提出年月日	申請者			地区名
	路線名		路線種別		調査年月日		
	地域の状況	延長	m	幅員	m	備考	
	概算金額	千円 (測試費		千円・工事費		千円)	
評価事項	評価項目		評価基準 (配点)			評価	
	○他計画等との整合性						
	他計画等との整合性		市計画等で計画(10)・他計画で計画(7)・他事業から求協力(5) 単独事業(0)				
	○緊急性						
	通学路使用の状況		全体が通学路(8)・半分以上(6)・半分以下(4)・利用無(0)				
	交通量 (車両)		一日中不特定の通行者(5)・朝晩以外は地区のみ利用(4) 終日地区のみ利用(2)・あまり利用無、農耕車両の利用が大半(0)				
	交通量 (歩行者・自転車)		朝夕の通勤・通学の利用(7)・日中の利用が100人程度(5) 日中利用が50人程度(3)・歩行者の通行ほぼ無し(0)				
	緊急車両の通行障害		車両侵入が困難(8)・すれ違いが困難(6)・非住宅街(0)				
	歩道の有無		歩道無(7)・歩道有2.5m未満(5)・歩道有2.5m超(0)				
	○必要性						
	通行障害 (路面劣化による歩行への支障)		歩行支障有-5割以上劣化(5)・歩行支障有-概ね3割以上劣化(4) 歩行支障有(3)・大きな支障無(0)				
	通行障害 (路面劣化による車両通行障害)		歩行支障有-5割以上劣化(5)・歩行支障有-概ね3割以上劣化(4) 歩行支障有(3)・大きな支障無(0)				
	○整備の熟度						
	住宅地等の割合		住宅地等の割合50%以上(5)・20~50%(3)・20%未満(1)・無(0)				
	連携工事の要否		単独施工可能(5)・要他事業との連携(3)・要他事業の完了(0)				
	整備の実効性		単独施工可能(5)・要他許認可、権利調整(3)・許認可等が困難(0)				
	計画地権者の同意状況		全員同意有又は不要(5)・全員同意無(0)				
	電柱の民地移設同意状況		全員同意有又は不要(5)・全員同意無(0)				
	○整備の効果						
	歩行者通行の安全性の向上		安全性の確保(5)・歩行者すれ違いが容易(3)・特に変化無(0)				
	車両通行の安全性の向上		幅員6m超確保(5)・幅員5-6m確保(4)・幅員4-5m確保(3) 4m未満(0)				
	路面排水等環境の向上		路面排水確保(6)・道路側地への路面排水流入減少(4)・変化無(0)				
	○経年加点						
	要望からの経年加点		5年以上(5)・4年(4)・3年(3)・2年(2)・1年(1)・当年(0)				
	合 計						
評価区分例		高+ : 優先順位が特に高い(70P以上)					
		高 : 優先順位が高い(60P以上)					
		中+ : 優先順位が中程度でやや高い(50P以上)					
		中 : 優先順位が中程度(40P以上)					
		低 : 優先順位が低い(40P未満)					
特記事項等							
要望者への回答							

1. 整備の方針
2. 優先順位・評価の基本的な考え方
3. 整備優先順位の判定フロー
4. 生活道路維持要望チェックリストの作成
5. 生活道路維持評価表
6. 評価の判定

## 2章 生活道路維持事業

### 1. 整備の方針

生活道路維持事業は常に現状の把握に努め、安全で安心な道路管理をするため、道路パトロールや市民からの情報に基づいて生活環境の改善や安全性・走行性及び快適性などに配慮した整備を推進する。

### 2. 優先順位・評価の基本的な考え方

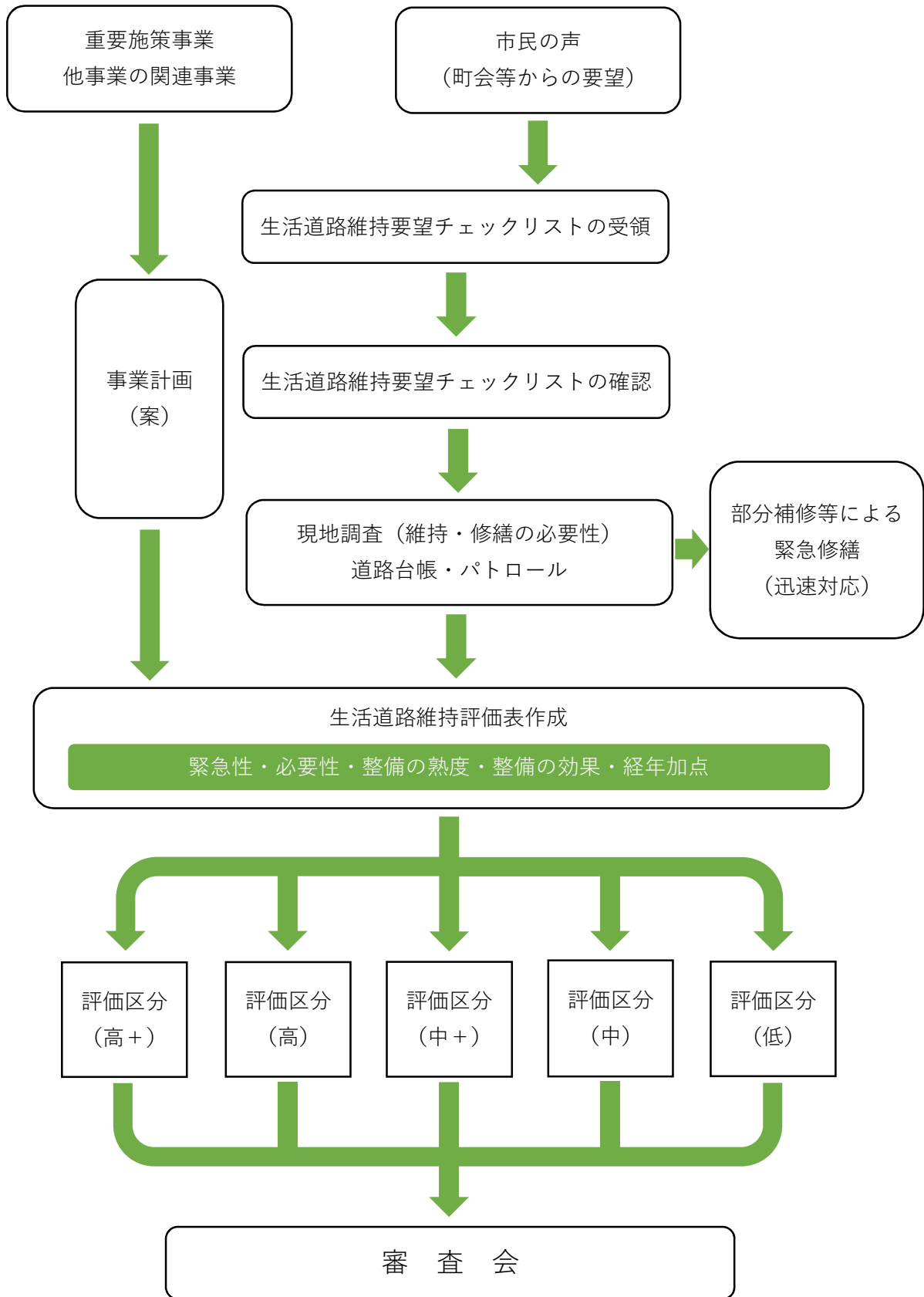
#### 2-1 優先順位・評価について

通学路使用状況、交通量（車両・歩行者・自転車）など「緊急性」の評価と、路面の劣化等に起因する歩行障害・車両の通行障害の「必要性」、住宅地等の割合や同調工事の有無、電柱移設の同意状況などの「熟度」、安全性の向上や環境の向上の「整備の効果」、要望からの経過年数を加算する「経年加点」を加えた5項目で評価する。

#### 2-2 整備時期について

評価表の優先順位を基本として、上位計画事業・他事業などとの整合を図り、整備時期を決定する。

3. 整備優先順位の判定フロー



## 4. 生活道路維持要望チェックリストの作成

整備要望におけるチェックリスト内容を整理し、とりまとめる。

チェックリストの項目・内容

整理 番号	項 目	内 容
①	要望路線名	路線名称、認定外道路（法定外道路）
②	要望の種類	砂利道舗装、オーバーレイ舗装 擁壁設置、法面保護、その他
③	道路延長	整備要望延長
④	道路幅員	現況及び要望幅
⑤	道路の状況	舗装状況及び側溝の状況
⑥	法面の崩落	法面崩落の有無
⑦	水道、下水道管理設	同調工事の可能性
⑧	電柱の有無	道路の状況、移動の可能性
⑨	道路使用状況	交通量
⑩	隣接地権者の同意	権利者全員の同意の有無
⑪	境界の確定	境界杭の確認
⑫	優先順位	過去と現在の優先順位の確認

## 5. 生活道路維持評価表

## 5-1 基本事項

要望における基本事項を整理し、建設管理課においてとりまとめる。

整理 番号	項 目	内 容
①	路線名称	路線名称
②	種別	路線種別
③	地区名	整備箇所の町名
④	地域の状況	整備箇所の用途区分または地域状況
⑤	要望の種類	舗装、擁壁、法面、その他
⑥	道路延長	整備予定延長
⑦	道路幅員	道路現況幅員
⑧	概算金額	整備にかかる費用

## 5-2 評価事項

事業計画（案）、整備要望チェックリスト及び調査表を基に整備優先順位評価表の作成を行う。

ここでは、緊急性・必要性・整備の熟度・整備の効果・経年加点の5項目を基本に評価し、各項目を高＋・高・中＋・中・低の5段階に評価する。

## 5-2-1 緊急性

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
a	通学路使用の状況	8	要望全体が通学路となっている
		6	概ね半分以上が通学路となっている
		4	通学路としての利用は半分以下となっている
		0	通学路としての利用はない
b	交通量（車両）	8	一日中不特定の通行がある
		6	朝晩以外は地域住民のみ利用
		4	終日地域住民のみの利用
		0	あまり利用が無いか農耕車両の利用が大半
c	交通量 (歩行者・自転車)	8	朝夕の通勤・通学の利用がある
		6	日中、地域住民の利用があり、交通量100人程度
		5	日中、地域住民の利用があり、交通量50人程度
		0	歩行者・自転車の通行はほとんど見られない

## 5-2-2 必要性

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
d	通行障害 (路面劣化による 歩行への支障)	10	5割以上が劣化し歩行に支障がある
		7	概ね3割以上が劣化し歩行に支障がある
		4	舗装の劣化が見られ高齢者の歩行に支障を来たす
		0	大きな支障はない
e	通行障害 (路面劣化による 車両通行障害)	10	5割以上が劣化し車両通行障害がある
		7	概ね3割以上が劣化し車両通行障害がある
		5	舗装の劣化・轍等の発生により、快適な車両通行を阻害している
		0	大きな支障はない

## 5-2-3 整備の熟度

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
f	住宅地等の割合	8	住宅地等の接地割合が50%以上
		5	接地割合が20%～50%
		2	接地割合が20%未満
		0	住宅がない
g	同調工事の有無	8	他事業が予定されている
		0	単独工事となる
h	電柱の民地移設 同意状況	5	全員の同意がある又は不要
		0	反対者あり



## 5-2-4 整備の効果

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
i	歩行者通行の安全性の向上	10	歩行者の安全が確保される
		7	歩行者のすれ違いが容易になる
		0	特に変化なし
j	車両通行の安全性の向上	10	車両通行の障害が解消される
		7	交通量が確保される
		4	車両のすれ違いが容易になる
		0	特に変化なし
k	路面排水等環境の向上	10	路面排水を確保できる
		7	道路測地への路面排水流入が減少する
		0	特に変化なし

## 5-2-5 経年加点

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
q	要望からの経過年数	5	要望から5年以上経過したもの
		4	要望から4年以上経過したもの
		3	要望から3年以上経過したもの
		2	要望から2年以上経過したもの
		1	要望から1年以上経過したもの
		0	要望が当該年度に提出されたもの

## 6. 評価の判定

5項目の評価に基づき、優先度の判定を行う。

評価区分	評価内容
高+	優先順位が特に高い（70P以上）
高	優先順位が高い（60P以上）
中+	優先順位が中程度でやや高い（50P以上）
中	優先順位が中程度（40P以上）
低	優先順位が低い（40P未満）

生活道路維持要望チェックリスト

令和 年 月 日

地区名 ( ) 町会名 ( )

整理 番号	項 目	内 容	担当者 確 認
①	要望路線名		<input type="checkbox"/>
②	要望の種類	<input type="checkbox"/> 砂利道舗装 <input type="checkbox"/> オーバーレイ舗装 <input type="checkbox"/> 擁壁設置 <input type="checkbox"/> 法面保護 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他(歩道)	<input type="checkbox"/>
③	道路延長	要望延長 L=            m	<input type="checkbox"/>
④	道路幅員	現況幅員            m : 要望幅員            m	<input type="checkbox"/>
⑤	道路の状況	<input type="checkbox"/> 砂利道 <input type="checkbox"/> 舗装の痛んでいる道路 <input type="checkbox"/> 舗装道	<input type="checkbox"/>
⑥	法面の崩落	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/>
⑦	水道、下水道管理設	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/>
⑧	電柱の有無	<input type="checkbox"/> 道路内に電柱あり <input type="checkbox"/> 道路内に電柱なし 電柱がある場合 <input type="checkbox"/> 民地への移動可能 <input type="checkbox"/> 民地への移動は不可能 理由：	<input type="checkbox"/>
⑨	道路使用状況	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C A：朝昼夕一致の交通量がある B：朝夕には交通量があるが昼ほとんど無 C：一日中関係者しか通らない	<input type="checkbox"/>
⑩	隣接権利者の同意	<input type="checkbox"/> 同意不用 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/>
⑪	境界の確定	<input type="checkbox"/> はっきりしている <input type="checkbox"/> はっきりしていない <input type="checkbox"/> もめている	<input type="checkbox"/>
⑫	優先順位	現在までの要望と今回の要望ではどちらを優先するか？ 優先順位 (            /            )	<input type="checkbox"/>

生活道路維持評価表  
(舗装・擁壁・法面)

課長	補佐	主査・係長	主任	担当	入力チェック
					台帳 <input type="checkbox"/>
					広報 <input type="checkbox"/>

基本事項	受付番号	受付年月日	提出年月日	申請者			地区名	
	路線名		路線種別		調査年月日			
	地域の状況	延長	m	幅員	m	備考		
	概算金額	千円 (テスト費		千円・工事費		千円)		
	評価項目	評価基準 (配点)				評価		
評価事項	○緊急性							
	通学路使用の状況	全体が通学路(8)・半分以上(6)・半分以下(4)・利用無(0)						
	交通量 (車両)	一日中不特定の通行者(8)・朝晩以外は地区のみ利用(6) 終日地区のみ利用(4)・あまり利用無、農耕車両の利用が大半(0)						
	交通量 (歩行者・自転車)	朝夕の通勤・通学の利用(8)・日中の利用が100人程度(6) 日中利用が50人程度(5)・歩行者の通行ほぼ無し(0)						
	○必要性							
	通行障害 (路面劣化による歩行への支障)	歩行支障有-5割以上劣化(10)・歩行支障有-概ね3割以上劣化(7) 歩行支障有(4)・大きな支障無(0)						
	舗装・路肩・法面の劣化・損傷	5割以上の劣化・損傷有(10)・3割以上の劣化損傷有(7)・要望個所の一部に通行障害となる劣化・損傷(5)・大きな支障無(0)						
	○整備の熟度							
	住宅地等の割合	住宅地等の割合50%以上(8)・20~50%(5)・20%未満(2)・無(0)						
	同調工事の有無	他事業が予定されている(8)・単独工事(0)						
	電柱の民地移設同意状況	全員同意有又は不要(5)・全員同意無(0)						
	○整備の効果							
	歩行者通行の安全性の向上	安全性の確保(10)・歩行者すれ違いが容易(7)・特に変化無(0)						
	車両通行の安全性の向上	車両通行の障害解消(10)・交通量の確保(7)・車両交差向上(4) 特に変化無(0)						
	路面排水等環境の向上	路面排水確保(10)・道路側地への路面排水流入減少(7)・変化無(0)						
○経年加点								
要望からの経年加点	5年以上(5)・4年(4)・3年(3)・2年(2)・1年(1)・当年(0)							
合 計								
評価区分例	高+ : 優先順位が特に高い(70P以上)							
	高 : 優先順位が高い(60P以上)							
	中+ : 優先順位が中程度でやや高い(50P以上)							
	中 : 優先順位が中程度(40P以上)							
	低 : 優先順位が低い(40P未満)							
特記事項等								
要望者への回答								

1. 整備の方針
2. 優先順位・評価の基本的な考え方
3. 整備優先順位の判定フロー
4. 側溝整備要望チェックリストの作成
5. 側溝整備評価表
6. 評価の判定

## 3章 側溝整備事業

### 1. 整備の方針

側溝整備は、衛生面、景観など生活環境の改善に配慮した総合的な整備を推進する。

### 2. 優先順位・評価の基本的な考え方

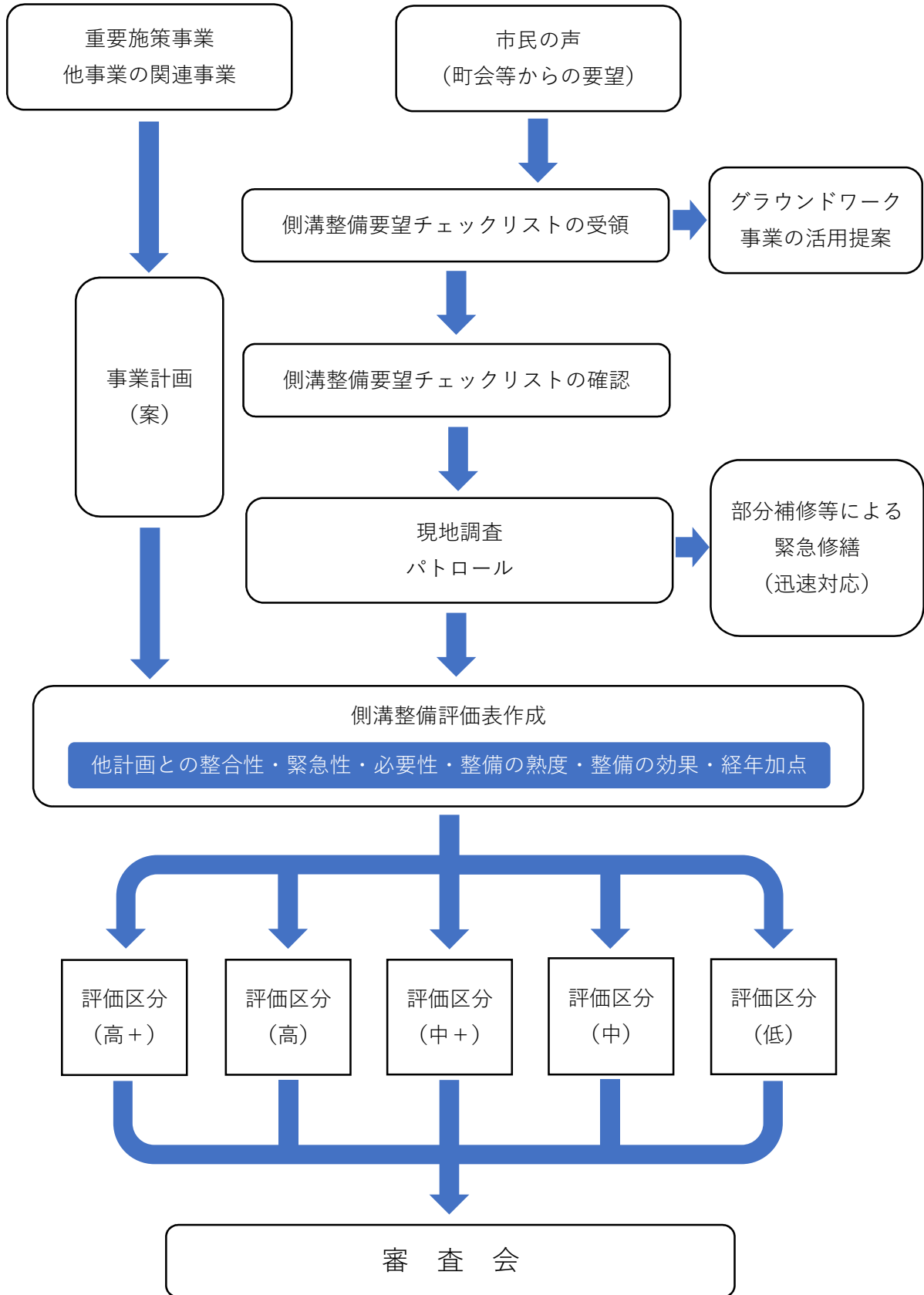
#### 2-1 優先順位・評価について

「他計画との整合性」の評価や、通学路使用状況、交通量（車両・歩行者・自転車）、緊急車両の通行障害など「緊急性」の評価と、側溝の有無、劣化状況、溢水被害の状況などの「必要性」、住宅地等の割合や他事業との連携、地権者の同意状況などの「熟度」、排水環境の向上と歩行者の安全性の向上の「整備の効果」、要望からの経過年数を加算する「経年加点」を加えた6項目で評価する。

#### 2-2 整備時期について

評価表の優先順位を基本として、上位計画事業・他事業などとの整合を図り、整備時期を決定する。

3. 整備優先順位の判定フロー



## 4. 側溝整備要望チェックリストの作成

整備要望におけるチェックリスト内容を整理し、とりまとめる。

チェックリストの項目・内容

整理番号	項目	内容
①	要望路線名	路線名称
②	要望の種類	側溝整備、側溝蓋掛け、その他
③	側溝延長	整備要望延長
④	既存側溝の状況	側溝の有無、施設の悪化状況
⑤	住宅地の状況	利用する住宅の戸数
⑥	下流部の状況	流末の有無、改良の必要性
⑦	過去の被害状況	浸水の事例
⑧	障害物の状況	予定地内の障害物の有無、移動の可能性
⑨	道路使用状況	歩行者の状況
⑩	権利者の同意	権利者全員の同意の有無
⑪	境界の確定	境界杭の確認
⑫	優先順位	過去と現在の優先順位の確認



## 5. 側溝整備評価表

## 5-1 基本事項

要望における基本事項を整理し、建設管理課においてとりまとめる。

整理番号	項目	内容
①	路線・排水路名称	路線及び排水路名称
②	地区名	整備箇所の町名
③	集水面積	集水面積
④	排水路規模	延長、断面形状
⑤	概算金額	整備にかかる費用

## 5-2 評価事項

事業計画（案）、整備要望チェックリスト及び調査表を基に整備優先順位評価表の作成を行う。

ここでは、他計画との整合性・緊急性・必要性・整備の熟度・整備の効果・経年加点の6項目を基本に評価し、各項目を高+・高・中+・中・低の5段階に評価する。

## 5-2-1 他計画との整合性

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
a	他計画との整合性	10	市振興計画で計画されている
		7	他計画で計画されている
		4	他事業との協力が求められる事業
		0	単独の事業である

## 5-2-2 緊急性

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
b	通学路使用の状況	8	要望全体が通学路となっている
		6	概ね半分以上が通学路となっている
		4	通学路としての利用は半分以下となっている
		0	通学路としての利用はない
c	交通量（車両）	5	一日中不特定の通行がある
		4	朝晩以外は地域住民のみ利用
		2	終日地域住民のみの利用
		0	あまり利用が無いが農耕車両の利用が大半
d	交通量 (歩行者・自転車)	7	朝夕の通勤・通学の利用がある
		5	日中、地域住民の利用があり、交通量100人程度
		3	日中、地域住民の利用があり、交通量50人程度
		0	歩行者・自転車の通行はほとんど見られない
e	緊急車両の通行障害	8	幅員狭隘のため緊急車両の進入が困難
		6	幅員狭隘のため緊急車両のすれ違いが困難
		0	非住宅街のため想定範囲外

## 5-2-3 必要性

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
f	側溝の有無	8	要望個所に側溝はない
		5	側溝はあるが蓋がない
		3	側溝はあるが小規模側溝である
		0	側溝・蓋ともにあり、大きな支障はない
g	側溝の劣化状況	7	5割以上が劣化し漏水が激しく、環境の悪化が見られる
		5	概ね3割以上が劣化し漏水が激しく、環境の悪化が見られる
		3	老朽化により、歩行障害が危惧される
		0	大きな支障はない
h	溢水被害の状況	7	過去10年間の被害が5回以上発生している
		5	過去10年間の被害が3～4回以上発生している
		3	過去10年間の被害は2回以下である
		0	特に被害はない

## 5-2-4 整備の熟度

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
i	住宅地等の割合	5	住宅地等の接地割合が50%以上
		3	接地割合が20%～50%
		1	接地割合が20%未満
		0	住宅がない

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
j	連携工事の要否	5	単独施工が可能
		3	他事業との連携が必要
		0	他事業の完了が必要
k	整備の実効性	5	単独施工が可能
		3	他事業の許認可、権利の調整が必要
		0	許認可等が困難
l	計画地権者の同意状況	5	全員の同意がある又は不要
		0	反対者あり

## 5-2-5 整備の効果

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
m	路面排水等環境の向上	10	路面排水を確保できる
		6	道路側地への路面排水が減少する
		0	特に変化なし
n	歩行者通行の安全性の向上	5	安全性が確保できる
		3	歩行者のすれ違いが容易になる
		0	特に変化なし

## 5-2-6 経年加点

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
0	要望からの 経過年数	5	要望から5年以上経過したもの
		4	要望から4年以上経過したもの
		3	要望から3年以上経過したもの
		2	要望から2年以上経過したもの
		1	要望から1年以上経過したもの
		0	要望が当該年度に提出されたもの

## 6. 評価の判定

5項目の評価に基づき、優先度の判定を行う。

評価区分	評価内容
高+	優先順位が特に高い（70P以上）
高	優先順位が高い（60P以上）
中+	優先順位が中程度でやや高い（50P以上）
中	優先順位が中程度（40P以上）
低	優先順位が低い（40P未満）

側溝整備要望チェックリスト

令和 年 月 日

地区名 ( ) 町会名 ( )

整理 番号	項 目	内 容	担当者 確 認
①	要望路線名		<input type="checkbox"/>
②	要望の種類	<input type="checkbox"/> 側溝 <input type="checkbox"/> 蓋掛け <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/>
③	側溝延長	要望延長 L=                  m	<input type="checkbox"/>
④	既存側溝の状況	<input type="checkbox"/> 側溝無し <input type="checkbox"/> 土側溝 <input type="checkbox"/> 側溝がかなり破損 <input type="checkbox"/> 側溝破損あり <input type="checkbox"/> 破損無し	<input type="checkbox"/>
⑤	住宅地の状況	<input type="checkbox"/> 住宅密集地 <input type="checkbox"/> 住宅密度はまばら <input type="checkbox"/> 利用戸数少	<input type="checkbox"/>
⑥	下流部の状況	<input type="checkbox"/> 流末有 <input type="checkbox"/> 流末無 <input type="checkbox"/> 流末改良要 <input type="checkbox"/> 流末改良不用	<input type="checkbox"/>
⑦	過去の被害状況	<input type="checkbox"/> 浸水被害あり <input type="checkbox"/> 浸水被害なし	<input type="checkbox"/>
⑧	障害物（電柱等）の有無	<input type="checkbox"/> 予定地内に電柱あり <input type="checkbox"/> 予定地内に電柱なし 電柱がある場合 <input type="checkbox"/> 民地への移動可能 <input type="checkbox"/> 民地への移動は不可能 理由：	<input type="checkbox"/>
⑨	道路使用状況	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C A：通学路に指定されている B：歩行者が多い C：歩行者は少ない	<input type="checkbox"/>
⑩	権利者の同意	<input type="checkbox"/> 同意不用 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/>
⑪	境界の確定	<input type="checkbox"/> 確定不要 <input type="checkbox"/> はっきりしている <input type="checkbox"/> はっきりしていない <input type="checkbox"/> もめている	<input type="checkbox"/>
⑫	優先順位	現在までの要望と今回の要望ではどちらを優先するか？ 優先順位 (                  /                  )	<input type="checkbox"/>

側溝整備評価表

課長	補佐	主査・係長	主任	担当	入力チェック
					台帳 <input type="checkbox"/>
					広報 <input type="checkbox"/>

基本事項	受付番号	受付年月日	提出年月日	申請者		地区名
	路線名	集水面積		ha	調査年月日	
	排水路規模	延長	m	高×幅	m × m	備考
	概算金額	千円 (テスト費		千円・工事費		千円)
		評価項目		評価基準 (配点)		評価
評価事項	○他計画等との整合性					
	他計画等との整合性	市計画等で計画(10)・他計画で計画(7) 他事業から求協力(4)・無(0)				
	○緊急性					
	通学路使用の状況	全体が通学路(8)・半分以上(6)・半分以下(4)・利用無(0)				
	交通量 (車両)	一日中不特定の通行者(5)・朝晩以外は地区のみ利用(4) 終日地区のみ利用(2)・あまり利用無、農耕車両の利用が大半(0)				
	交通量 (歩行者・自転車)	朝夕の通勤・通学の利用(7)・日中の利用が100人程度(5) 日中利用が50人程度(3)・歩行者の通行ほぼ無し(0)				
	緊急車両の通行障害	車両侵入が困難(8)・すれ違いが困難(6)・非住宅街(0)				
	○必要性					
	側溝の有無	側溝無(8)・側溝有、蓋がかけられない(5) 側溝有、小規模側溝(3)・大きな支障無(0)				
	側溝の劣化状況	劣化、漏水有-5割以上(7)・劣化、漏水有-3割以上(5) 劣化による歩行障害有(3)・大きな支障無(0)				
	溢水被害の状況	過去10年間の被害が5回以上発生(7) 3~4回(5)・2回以下(3)・特になし(0)				
	○整備の熟度					
	住宅地等の割合	住宅地等の割合50%以上(5)・20~50%(3)・20%未満(1)・無(0)				
	連携工事の要否	単独施工可能(5)・要他事業との連携(3)・要他事業の完了(0)				
	整備の実効性	単独施工可能(5)・要他許認可、権利調整(3)・許認可等が困難(0)				
	計画地権者の同意状況	全員同意有又は不要(5)・全員の同意無(0)				
	○整備の効果					
	路面排水等環境の向上	路面採水確保(10)・道路側地への路面排水流入減少(6)・変化無(0)				
	歩行者通行鵜の安全性の向上	安全性の確保(5)・歩行者すれ違いが容易(3)・特に変化無(0)				
	○経年加点					
要望からの経年加点	5年以上(5)・4年(4)・3年(3)・2年(2)・1年(1)・当年(0)					
合 計						
評価区分例	高+ : 優先順位が特に高い(70P以上)					
	高 : 優先順位が高い(60P以上)					
	中+ : 優先順位が中程度でやや高い(50P以上)					
	中 : 優先順位が中程度(40P以上)					
	低 : 優先順位が低い(40P未満)					
特記事項等						
要望者への回答						

## 4章 河川・用悪水路整備事業

---

1. 整備の方針
2. 優先順位・評価の基本的な考え方
3. 整備優先順位の判定フロー
4. 河川・用悪水路整備要望チェックリストの作成
5. 河川・用悪水路整備評価表
6. 評価の判定



## 4章 河川・用悪水路整備事業

### 1. 整備の方針

河川・用悪水路整備は、市民の生命と財産を守るための災害防止対策や、快適な水辺環境確保と、衛生面、景観など生活環境の改善に配慮した総合的な整備を推進する。

### 2. 優先順位・評価の基本的な考え方

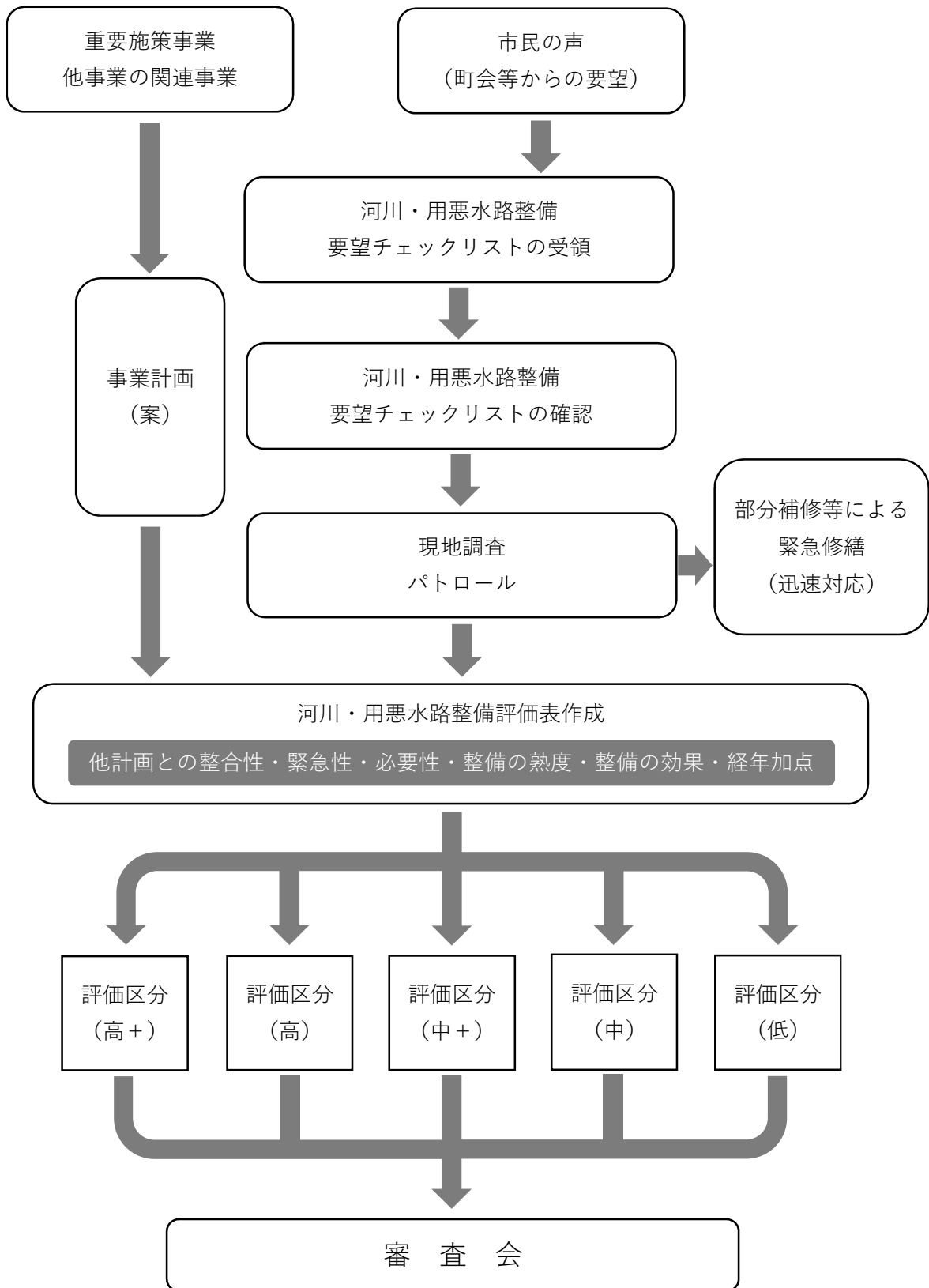
#### 2-1 優先順位・評価について

「他計画との整合性」の評価や、浸水被害、用水の滞水状況などの「緊急性」の評価と、水路の形態、法面損傷などの「必要性」、住宅地等の割合や他事業との連携、地権者の同意状況などの「熟度」、排水環境の向上と通行の安全性の向上の「整備の効果」、要望からの経過年数を加算する「経年加点」を加えた6項目で評価する。

#### 2-2 整備時期について

評価表の優先順位を基本として、上位計画事業・他事業などとの整合を図り、整備時期を決定する。

3. 整備優先順位の判定フロー



## 4. 河川・用悪水路整備要望チェックリストの作成

整備要望におけるチェックリスト内容を整理し、とりまとめる。

チェックリストの項目・内容

整理 番号	項 目	内 容
①	河川・水路名称	河川・水路名称
②	要望の種類	河川・用悪水路・その他
③	水路規模	整備要望延長、断面形状
④	既存水路の状況	水路の有無、施設の悪化状況
⑤	住宅地の状況	利用する住宅の戸数
⑥	下流部の状況	流末の有無、改良の必要性
⑦	過去の被害状況	浸水の事例
⑧	障害物の状況	予定地内の障害物の有無、移動の可能性
⑨	道路使用状況	歩行者の状況
⑩	権利者の同意	権利者全員の同意の有無
⑪	境界の確定	境界杭の確認
⑫	優先順位	過去と現在の優先順位の確認

## 5. 河川・用悪水路整備評価表

## 5-1 基本事項

要望における基本事項を整理し、建設管理課においてとりまとめる。

整理番号	項目	内容
①	河川・水路名称	河川・排水路名称
②	地区名	整備箇所の町名
③	集水面積	集水面積
④	被害状況	被害面積、浸水戸数
⑤	水路規模	延長、断面形状
⑥	概算金額	整備にかかる費用

## 5-2 評価事項

事業計画（案）、整備要望チェックリスト及び調査表を基に整備優先順位評価表の作成を行う。

ここでは、他計画との整合性・緊急性・必要性・整備の熟度・整備の効果・経年加点の6項目を基本に評価し、各項目を高＋・高・中＋・中・低の5段階に評価する。

## 5-2-1 他計画との整合性

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
a	他計画との整合性	10	市振興計画で計画されている
		7	他計画で計画されている
		5	他事業との協力が求められる事業
		0	単独の事業である

## 5-2-2 緊急性

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
b	浸水被害の状況	10	過去10年間の被害が5回以上発生している
		7	過去10年間の被害が3～4回以上発生している
		5	過去10年間の被害が2回以下である
		0	特に被害はない
c	用水の滞水状況	10	要望個所の5割以上の区域で常時滞水し、環境悪化が見られる
		7	要望個所の3割以上の区域で常時滞水し、環境悪化が見られる
		5	一部に滞水箇所があり、環境悪化が見られる
		0	大きな支障はない
d	通行状況	10	通学路となっている側道がある
		5	地域住民利用の側道がある
		0	特に利用される側道はない

## 5-2-3 必要性

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
e	河川・水路の形態	10	護岸なし・土側溝
		0	護岸あり・土側溝以外
f	河川・水路の現状	10	概ね5割以上が劣化し、護岸・水路法面等の損壊が見られる
		7	概ね3割以上が劣化し、護岸・水路法面等の損壊が見られる
		5	護岸・水路法面等の劣化が見られる
		0	特に問題なし

## 5-2-4 整備の熟度

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
g	住宅地等の割合	5	住宅地等の接地割合が50%以上
		3	接地割合が20%～50%
		1	接地割合が20%未満
		0	住宅がない
h	連携工事の要否	5	単独施工が可能
		3	他事業との連携が必要
		0	他事業の完了が必要
i	整備の実効性	5	単独施工が可能
		3	他事業の許認可、権利の調整が必要
		0	許認可等が困難
j	用地境界の明確性	5	境界杭等があり境界が明確又は確定が不要
		0	境界が不明確
k	計画地権者の同意状況	5	全員の同意がある又は不要
		0	反対者あり

## 5-2-5 整備の効果

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
l	環境の向上 (右記該当項目点数を 加算)	1	排水性の向上
		1	悪臭の軽減
		1	雑草繁茂の低減
		1	道路等の路肩強度の向上
		1	その他
m	通行の安全性の 向上	5	道路幅員の拡大
		0	特になし

## 5-2-6 経年加点

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
o	要望からの 経過年数	5	要望から5年以上経過したもの
		4	要望から4年以上経過したもの
		3	要望から3年以上経過したもの
		2	要望から2年以上経過したもの
		1	要望から1年以上経過したもの
		0	要望が当該年度に提出されたもの

## 6. 評価の判定

5項目の評価に基づき、優先度の判定を行う。

評価区分	評価内容
高+	優先順位が特に高い（70P以上）
高	優先順位が高い（60P以上）
中+	優先順位が中程度でやや高い（50P以上）
中	優先順位が中程度（40P以上）
低	優先順位が低い（40P未満）



河川・用悪水路整備要望チェックリスト

令和 年 月 日

地区名 ( ) 町会名 ( )

整理 番号	項 目	内 容	担当者 確 認
①	河川・水路・市道名		<input type="checkbox"/>
②	要望の種類	<input type="checkbox"/> 河川 <input type="checkbox"/> 用悪水路 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/>
③	河川・水路延長	要望延長 L=                  m	<input type="checkbox"/>
④	既存河川・水路の状況	<input type="checkbox"/> 水路無し <input type="checkbox"/> 土側溝 <input type="checkbox"/> 護岸・側溝がかなり破損 <input type="checkbox"/> 護岸・側溝破損あり <input type="checkbox"/> 破損無し	<input type="checkbox"/>
⑤	住宅地の状況	<input type="checkbox"/> 住宅密集地 <input type="checkbox"/> 住宅密度はまばら <input type="checkbox"/> 利用戸数少	<input type="checkbox"/>
⑥	下流部の状況	<input type="checkbox"/> 流末有 <input type="checkbox"/> 流末無 <input type="checkbox"/> 流末改良要 <input type="checkbox"/> 流末改良不用	<input type="checkbox"/>
⑦	過去の被害状況	<input type="checkbox"/> 浸水被害あり <input type="checkbox"/> 浸水被害なし	<input type="checkbox"/>
⑧	障害物（電柱等）の有無	<input type="checkbox"/> 予定地内に電柱あり <input type="checkbox"/> 予定地内に電柱なし 電柱がある場合 <input type="checkbox"/> 民地への移動可能 <input type="checkbox"/> 民地への移動は不可能 理由：	<input type="checkbox"/>
⑨	道路使用状況	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C A：通学路に指定されている B：歩行者が多い C：歩行者は少ない	<input type="checkbox"/>
⑩	権利者の同意	<input type="checkbox"/> 同意不用 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/>
⑪	境界の確定	<input type="checkbox"/> 確定不要 <input type="checkbox"/> はっきりしている <input type="checkbox"/> はっきりしていない <input type="checkbox"/> もめている	<input type="checkbox"/>
⑫	優先順位	現在までの要望と今回の要望ではどちらを優先するか？ 優先順位 (                  /                  )	<input type="checkbox"/>

河川・用悪水路整備評価表	課長	補佐	主査・係長	主任	担当	入力チェック	
						台帳	広報
						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

基本事項	受付番号	受付年月日	提出年月日	申請者			地区名
	河川・水路名	集水面積		ha	調査年月日		
	被害状況	ha・浸水戸数	戸	高×幅	m×m	備考	
	概算金額	千円 (測試費)		千円・工事費			千円)
評価事項	評価項目		評価基準 (配点)				評価
	○他計画等との整合性						
	他計画等との整合性		市計画等で計画(10)・他計画で計画(7) 他事業から求協力(5)・無(0)				
	○緊急性						
	浸水被害の状況		過去10年間の被害が5回以上発生(7) 3~4回(5)・2回以下(3)・特になし(0)				
	用水の滞水状況		常時滞水有5割以上(10)・常時滞水有3割以上(7) 一部滞水有(5)・特になし(0)				
	通行状況		通学路となっている側道がある(10)・地域利用の側道がある(5) 特になし(0)				
	○必要性						
	河川・水路の形態		護岸無、土側溝(10)・護岸有、土側溝以外(0)				
	用水の滞水状況		護岸・法面等の損傷有5割以上(10)・護岸・法面等の損傷有3割以上(7)・護岸・法面等の損傷有(5)・特に問題なし(0)				
	○整備の熟度						
	住宅地等の割合		住宅地等の割合50%以上(5)・20~50%(3)・20%未満(1)・無(0)				
	連携工事の要否		単独施工可能(5)・要他事業との連携(3)・要他事業の完了(0)				
	整備の実効性		単独施工可能(5)・要他許認可、権利調整(3)・許認可等が困難(0)				
	計画地権者の同意状況		全員同意有又は不要(5)・全員の同意無(0)				
	○整備の効果						
	環境の向上 (各項目加点)		排水性向上(1)・悪臭の低減(1)・雑草の抑制(1) 路肩強度の改善(1)・その他(1)				
	通行の安全性の向上		幅員の拡大(5)・特になし(0)				
	○経年加点						
	要望からの経年加点		5年以上(5)・4年(4)・3年(3)・2年(2)・1年(1)・当年(0)				
合 計							
評価区分例		高+ : 優先順位が特に高い(70P以上)					
		高 : 優先順位が高い(60P以上)					
		中+ : 優先順位が中程度でやや高い(50P以上)					
		中 : 優先順位が中程度(40P以上)					
		低 : 優先順位が低い(40P未満)					
特記事項等							
要望者への回答							

1. 整備の方針
2. 優先順位・評価の基本的な考え方
3. 整備優先順位の判定フロー
4. 安全施設整備要望チェックリストの作成
5. 安全施設整備評価表
6. 評価の判定

## 5章 安全施設整備事業

### 1. 整備の方針

安全施設整備は、車両の逸脱防止、歩行者や自転車の通行の安全を期するため、車歩道の分離や歩行空間の確保を考慮した整備を推進する。

### 2. 優先順位・評価の基本的な考え方

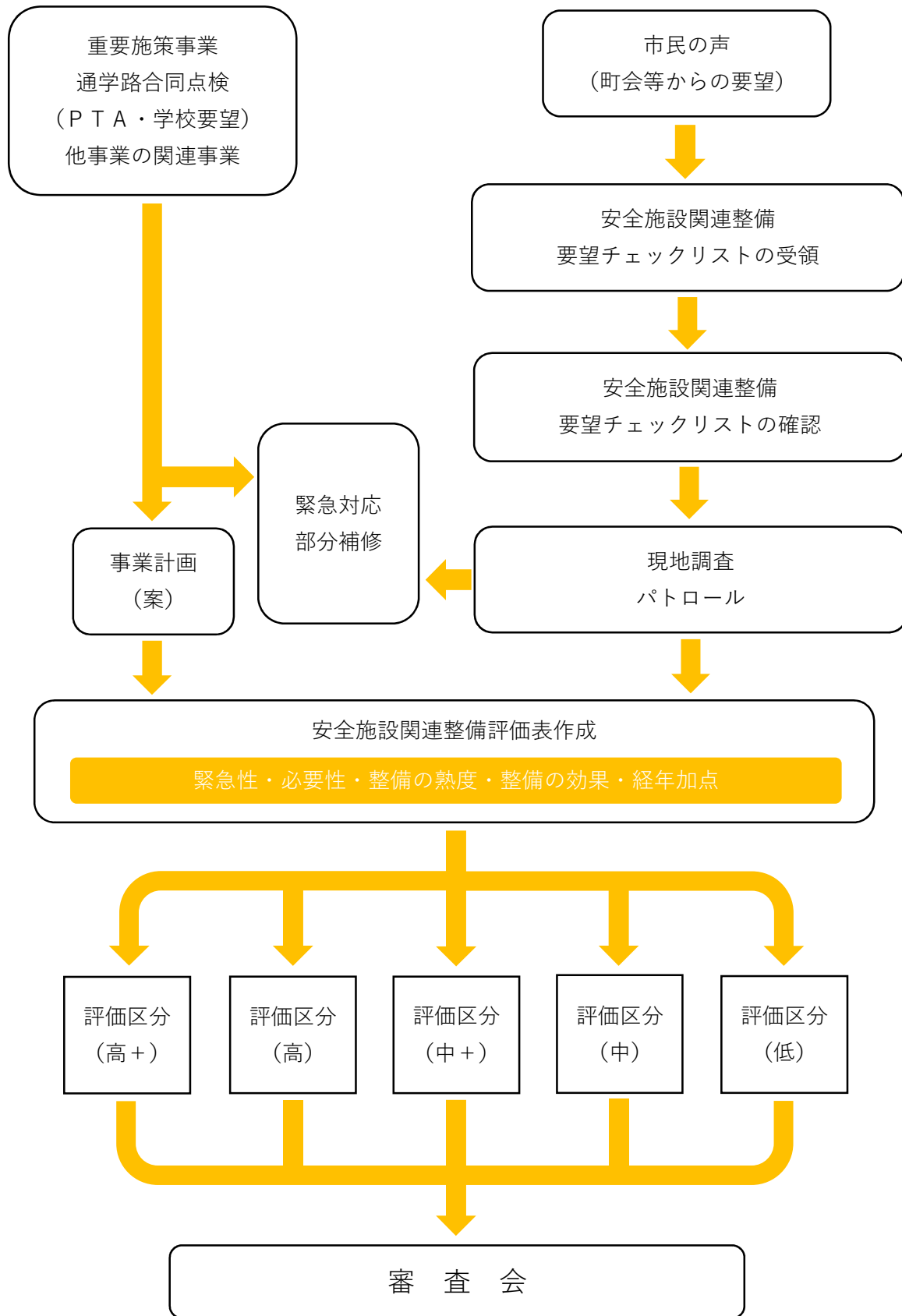
#### 2-1 優先順位・評価について

通学路使用状況、交通量（車両・歩行者・自転車）など「緊急性」の評価と、事故発生等の状況からみる「必要性」、住宅地等の割合や連携工事の要否、地権者の同意状況などの「熟度」、通行の安全性の向上の「整備の効果」、要望からの経過年数を加算する「経年加点」を加えた5項目で評価する。

#### 2-2 整備時期について

評価表の優先順位を基本として、上位計画事業・他事業などとの整合を図り、整備時期を決定する。

3. 整備優先順位の判定フロー



## 4. 安全施設整備要望チェックリストの作成

整備要望におけるチェックリスト内容を整理し、とりまとめる。

チェックリストの項目・内容

整理 番号	項 目	内 容
①	市道・河川・水路名称	市道・河川・水路名称
②	要望の種類	安全施設・防護柵・その他
③	要望延長	整備要望延長
④	道路使用状況	歩行者の状況
⑤	児童施設等の有無	要望個所付近の施設の有無
⑥	事故発生の状況	過去の事故の有無
⑦	車道・歩道の分離状況	歩道等の有無
⑧	住宅地の状況	利用する住宅の戸数
⑨	障害物の状況	予定地内の障害物の有無、移動の可能性
⑩	権利者の同意	権利者全員の同意の有無
⑪	境界の確定	境界杭の確認
⑫	優先順位	過去と現在の優先順位の確認

## 5. 安全施設整備評価表

## 5-1 基本事項

要望における基本事項を整理し、建設管理課においてとりまとめる。

整理番号	項目	内容
①	市道・河川・水路名称	市道・河川・排水路名称
②	地区名	整備箇所の町名
③	道路の状況	幼児・児童施設、安全施設状況等
④	要望の種類	転落防護柵、グリーンベルト、路面標示、その他
⑤	事故の発生状況	過去の事故例
⑥	概算金額	整備にかかる費用

## 5-2 評価事項

事業計画（案）、整備要望チェックリスト及び調査表を基に整備優先順位評価表の作成を行う。

ここでは、緊急性・必要性・整備の熟度・整備の効果・経年加点の5項目を基本に評価し、各項目を高＋・高・中＋・中・低の5段階に評価する。

## 5-2-1 緊急性

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
a	通学路使用の状況	9	要望全体が通学路となっている
		7	概ね半分以上が通学路となっている
		5	通学路としての利用は半分以下となっている
		0	通学路としての利用はない
b	交通量（車両）	9	一日中不特定の通行がある
		6	朝晩以外は地域住民のみ利用
		3	終日地域住民のみの利用
		0	あまり利用が無いが農耕車両の利用が大半
c	交通量 (歩行者・自転車)	9	朝夕の通勤・通学の利用がある
		7	日中、地域住民の利用があり、交通量100人程度
		5	日中、地域住民の利用があり、交通量50人程度
		0	歩行者・自転車の通行はほとんど見られない
d	幼児・児童施設からの距離	9	50m以内に施設あり
		7	100m以内に施設あり
		5	200m以内に施設あり
		0	200m以上離れている
e	歩道の有無	9	歩道なし
		6	グリーンベルト帯がある
		3	ラバーポールが設置されている
		0	歩道がある



## 5-2-3 必要性

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
f	事故発生の状況	10	過去10年間に歩行者との接触事故がある
		7	過去10年間に車両の事故（転落等）がある
		0	特に事故はない
g	危険性の状況	10	危険性が大いにある
		7	危険性は中程度である
		4	危険性は少ない
		0	危険性は予見できない

## 5-2-4 整備の熟度

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
h	住宅地等の割合	5	住宅地等の接地割合が50%以上
		3	接地割合が20%～50%
		1	接地割合が20%未満
		0	住宅がない
i	連携工事の要否	5	単独施工が可能
		3	他事業との連携が必要
		0	他事業の完了が必要
j	整備の実効性	5	単独施工が可能
		3	他事業の許認可、権利の調整が必要
		0	許認可等が困難

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
k	計画地権者の同意状況	5	全員の同意がある又は不要
		4	7割程度の同意がある
		3	5割程度の同意がある
		0	反対者あり

## 5-2-5 整備の効果

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
l	歩行者通行の 安全性向上 (右記該当項目点数を 加算)	3	車道と歩道の物理的分離
		2	車道と歩道の視覚的分離
		3	歩行者・自転車の転落防止
		2	車両の転落防止

## 5-2-6 経年加点

整理番号	評価項目	配点	具体的な内容
m	要望からの 経過年数	5	要望から5年以上経過したもの
		4	要望から4年以上経過したもの
		3	要望から3年以上経過したもの
		2	要望から2年以上経過したもの
		1	要望から1年以上経過したもの
		0	要望が当該年度に提出されたもの

## 6. 評価の判定

5項目の評価に基づき、優先度の判定を行う。

評価区分	評価内容
高+	優先順位が特に高い（70P以上）
高	優先順位が高い（60P以上）
中+	優先順位が中程度でやや高い（50P以上）
中	優先順位が中程度（40P以上）
低	優先順位が低い（40P未満）

安全施設整備要望チェックリスト

令和 年 月 日

地区名 ( ) 町会名 ( )

整理 番号	項 目	内 容	担当者 確 認
①	河川・水路・市道名		<input type="checkbox"/>
②	要望の種類	<input type="checkbox"/> 安全施設 <input type="checkbox"/> 防護柵 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/>
③	要望延長	要望延長 L= m	<input type="checkbox"/>
④	道路使用状況	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C A：通学路に指定されている B：歩行者が多い C：歩行者は少ない	<input type="checkbox"/>
⑤	児童施設等の有無	<input type="checkbox"/> 要望個所に施設あり <input type="checkbox"/> 付近に施設あり <input type="checkbox"/> 特になし	<input type="checkbox"/>
⑥	事故発生の状況	<input type="checkbox"/> 過去に事故あり <input type="checkbox"/> 特になし	<input type="checkbox"/>
⑦	歩道等の有無	<input type="checkbox"/> 歩道あり <input type="checkbox"/> 歩道なし <input type="checkbox"/> グリーンベルトあり <input type="checkbox"/> ラバーポールあり	<input type="checkbox"/>
⑧	住宅地の状況	<input type="checkbox"/> 住宅密集地 <input type="checkbox"/> 住宅密度はまばら <input type="checkbox"/> 利用戸数少	<input type="checkbox"/>
⑨	障害物（電柱等）の有無	<input type="checkbox"/> 予定地内に電柱あり <input type="checkbox"/> 予定地内に電柱なし 電柱がある場合 <input type="checkbox"/> 民地への移動可能 <input type="checkbox"/> 民地への移動は不可能 理由：	<input type="checkbox"/>
⑩	権利者の同意	<input type="checkbox"/> 同意不用 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/>
⑪	境界の確定	<input type="checkbox"/> 確定不要 <input type="checkbox"/> はっきりしている <input type="checkbox"/> はっきりしていない <input type="checkbox"/> もめている	<input type="checkbox"/>
⑫	優先順位	現在までの要望と今回の要望ではどちらを優先するか？ 優先順位 ( / )	<input type="checkbox"/>

安全施設整備評価表

課長	補佐	主査・係長	主任	担当	入力チェック
					台帳 <input type="checkbox"/>
					広報 <input type="checkbox"/>

基本事項	受付番号	受付年月日	提出年月日	申請者			地区名
	路線名		路線種別		調査年月日		
	地域の状況	延長	m	幅員	m	備考	
	概算金額	千円 (テスト費		千円・工事費		千円)	
	評価項目	評価基準 (配点)				評価	
評価事項	○緊急性						
	通学路使用の状況	全体が通学路(9)・半分以上(7)・半分以下(5)・利用無(0)					
	交通量 (車両)	一日中不特定の通行者(9)・朝晩以外は地区のみ利用(6) 終日地区のみ利用(3)・あまり利用無、農耕車両の利用が大半(0)					
	交通量 (歩行者・自転車)	朝夕の通勤・通学の利用(9)・日中の利用が100人程度(7) 日中利用が50人程度(5)・歩行者の通行ほぼ無し(0)					
	歩道の有無	歩道無(9)・グリーンベルトのみ(6) ラバーボール設置(3)・歩道有(0)					
	○必要性						
	事故発生の状況	過去10年間に歩行者との事故が発生している(10) 過去10年間に車両の転落事故等有(7)・特に事故無(0)					
	危険性の状況	危険度大(10)・危険度中(7)・危険度小(4)・危険性予知不能(0)					
	○整備の熟度						
	住宅地等の割合	住宅地等の割合50%以上(5)・20~50%(3)・20%未満(1)・無(0)					
	連携工事の要否	単独施工可能(5)・要他事業との連携(3)・要他事業の完了(0)					
	整備の実効性	単独施工可能(5)・要他許認可、権利調整(3)・許認可等が困難(0)					
	計画地権者の同意状況	全員同意有又は不要(5)・7割程度同意(4) 5割程度同意(3)・反対者有(0)					
	○整備の効果						
	安全性の向上 (各項目加点)	歩道と車道の物理的分離(3)・車道と歩道の視覚的分離(2) 歩行者。自転車転落防止(3)・車両の転落防止(2)					
○経年加点							
要望からの経年加点	5年以上(5)・4年(4)・3年(3)・2年(2)・1年(1)・当年(0)						
合 計							
評価区分例	高+ : 優先順位が特に高い(70P以上)						
	高 : 優先順位が高い(60P以上)						
	中+ : 優先順位が中程度でやや高い(50P以上)						
	中 : 優先順位が中程度(40P以上)						
	低 : 優先順位が低い(40P未満)						
特記事項等							
要望者への回答							